

# News Release

## 報道関係者各位

### 連絡先

コミュニケーションズ  
 Eメール：[JPNwebmaster@nielsen.com](mailto:JPNwebmaster@nielsen.com)  
 電話：03-5798-9300  
 ファックス：03-5798-9441

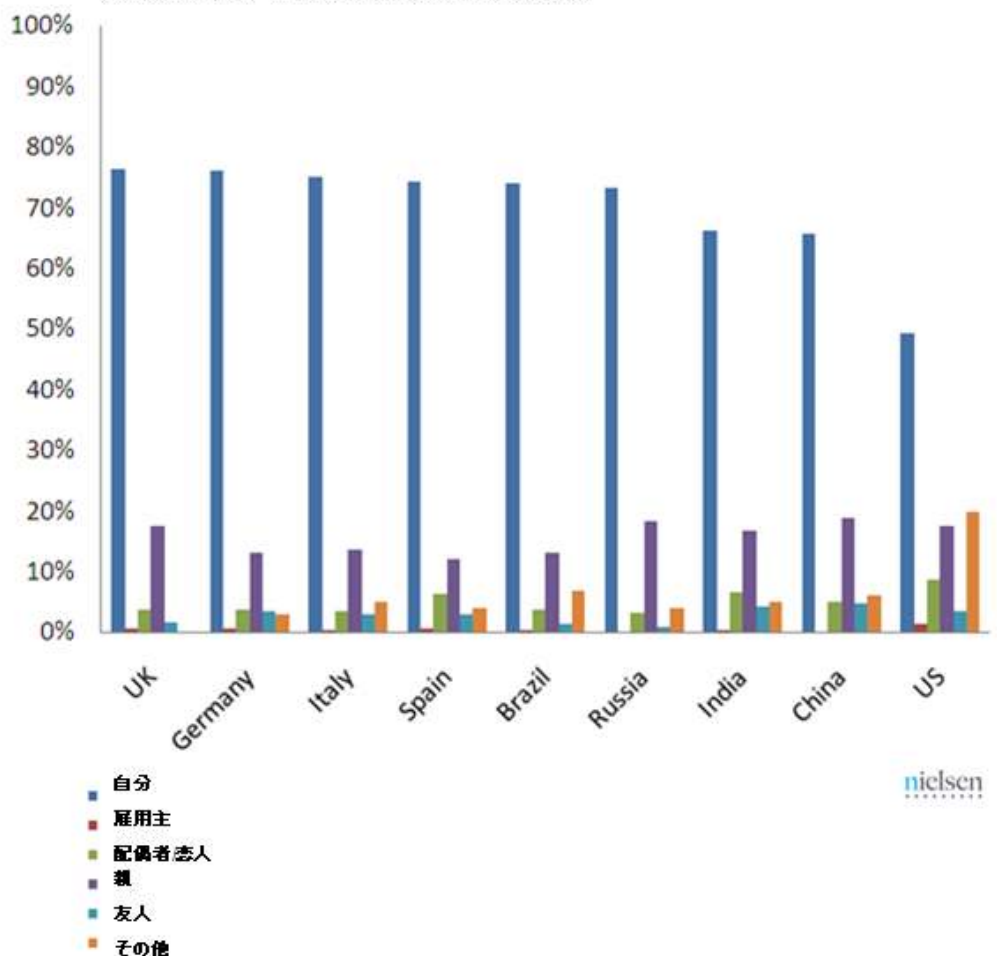
### 若者とモバイル—携帯電話と若者の世界的見解—

- 携帯電話を選ぶ際の決め手は“価格”。親ではなく自分で選ぶ若者が大多数
- スマートフォンの所持率トップはイタリア

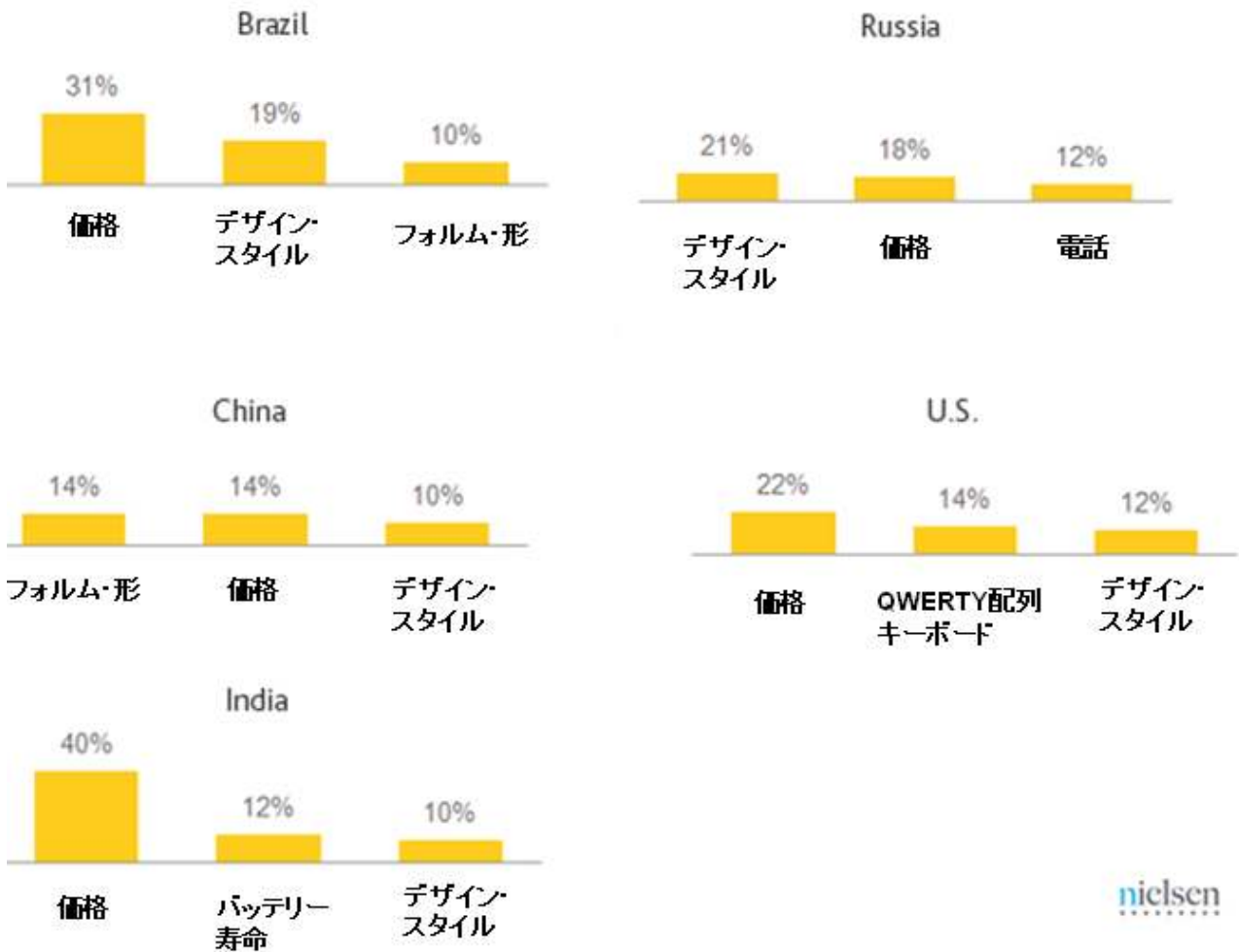
2010年12月17日 - 東京発：ニールセン・カンパニー合同会社（本社：港区白金台 / 職務執行者 シンディ・シン）は、[世界のモバイルと若者](#)に関する最新の白書を発表しました。

調査が行われた国々では、わずか16%の若者が彼らの携帯電話を親が選んだと答えています。若者が携帯電話を選ぶ上で最も重視するのが価格という結果でしたが、これはその他の年齢層でも同様の結果でした。調査が行われた全ての国で、15-24歳の若者は携帯電話を買う際の決め手として価格を一番に挙げていますが、ロシアの若者は例外で、21%がデザイン・スタイルを一番に挙げています。（成人の中にもデザインを重視する人々はいます。ブラジルの成人のうち14%は、デザイン・スタイルが購入を決める際に最も重要な要素と答えています。米国ではそれがわずか7%となっています。）

若者は携帯電話を自分で選ぶ  
 2010年上半期 15-24歳 携帯電話の選択権限



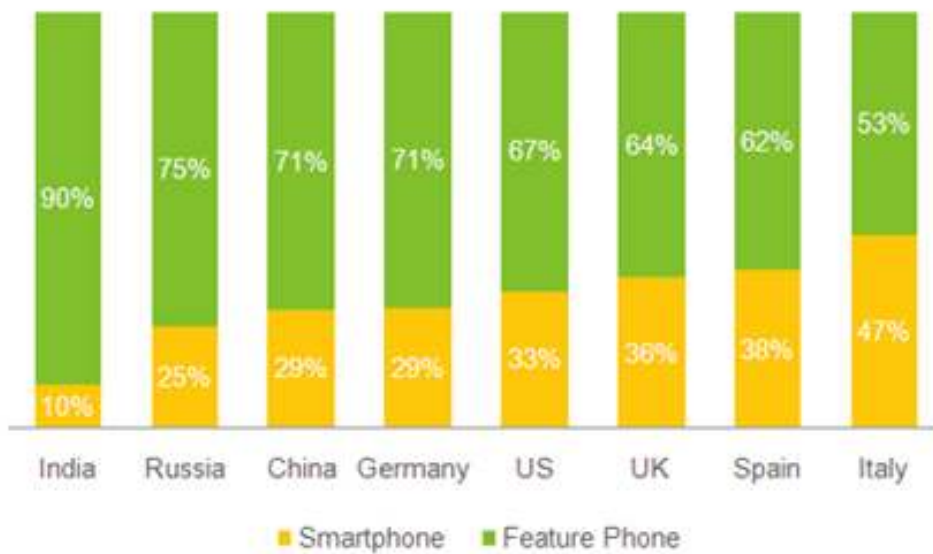
全世界で、購入を決める一番の決め手は価格



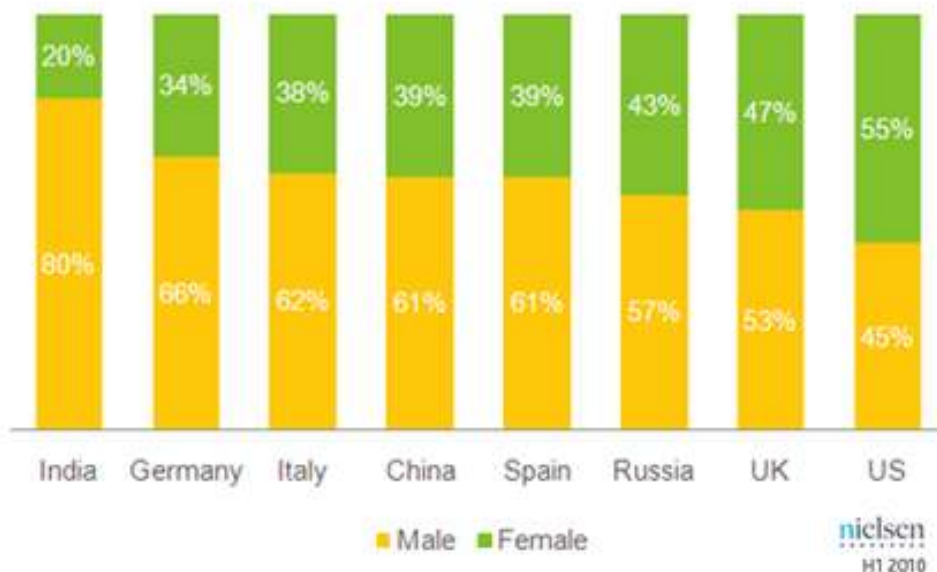
調査が行われた国の中で、イタリアが最もスマートフォン所持率が高く、15-24歳の若者のうち47%がスマートフォンを所有しており、25歳以上の成人は31%となっています。調査対象国のうち、欧州の若者のスマートフォン所持率は28%、成人では27%となっています。米国では携帯電話利用者のうち28%がスマートフォンを所有しています。米国の若者のスマートフォン所持率は全体に比べて5%高くなっています。

全ての国において男性の所持率が高いスマートフォンですが、米国は例外で15-24歳のスマートフォン利用者のうち55%が女性です。米国全体のスマートフォン利用者では55%が男性という結果になりました。

### 15-24歳のスマートフォン普及率はイタリアがトップ スマートフォン vs. フィーチャーフォン 15-24歳



### 米国以外全ての国でスマートフォン所持率は男性の方が高い スマートフォン利用者 15-24歳



#### ニールセン・カンパニーについて

ニールセン・カンパニーは世界最大の情報・メディア企業で、マーケティング及びコンシューマー情報、テレビ等のメディア情報、オンライン情報、モバイル情報を提供しています。また、トレードショーの開催や業界紙を出版しており、各分野でリーダー的地位を確立しています。アメリカ・ニューヨークの本社を拠点とし、世界 100 カ国以上でビジネスを展開しています。詳細は、ホームページ ([www.nielsen.com](http://www.nielsen.com)) をご覧ください。

世界の若者と携帯電話に関する最新調査のお問い合わせは、弊社コンシューマー・リサーチ(e-mail: [JP\\_CR@nielsen.com](mailto:JP_CR@nielsen.com))までお願いいたします。